資料編

森林の管理に関するアンケート

各質問項目で、()の中の選択肢に当てはまる事項について〇を付けてください。「複数回答可」となっているもの以外は、一項目だけを選択してください。 選択肢などの回答欄で、(下 線)を引いた欄には、数字や文章を入れてください。
【1】所有されている森林について伺います
①所有されている森林の場所をご存知ですか
・境界を含めてよく知っている・境界はわからないが場所は知っている・だいたいの場所なら知っている・知らない
②所有されている森林の面積を教えてください
・1 反歩未満・1 反歩~5 反歩・5 反歩~1 町歩・1 町歩~5 町歩・5 町歩以上・わからない※参考:1 町歩=10,000 平方メートル、1 反歩=1,000 平方メートル
③森林の主な樹種と林齢を教えて下さい
・樹種 () 、林齢 () 年 ・わからない
【2】所有されている森林の手入れ状況について伺います
①ご自身の森林へ行ったことがありますか (キノコ取りや山見を含む)
・はい・いいえ
①-1ご自身の森林へ行ったことがある方に伺います
どのくらいの頻度で行っていますか
・1ヶ月に1回以上 ・2,3ヶ月に1回程度 ・半年に1回程度・1年に1回程度 ・最近行ったのは1年以上前
②最近10年の間に、森林の手入れをしましたか
・はい・いいえ
「森林の手入れをした」方に伺います
②-1 どんな手入れをしましたか? (複数回答可)
・植林・下刈・枝打・除伐・間伐・伐出・境界確認確定・作業道の整備・その他()
②-2手入れの作業をしたのは誰ですか
・自分または家族・知人・業者・森林組合・その他() ②-3森林の手入れに、県などの補助金を受けましたか

・補助金を受けた・補助金を受けなかった・申請したが受けられなかった

「森林の手入れをしなかった」方に伺います

②-4森林の手入れをしなかった理由は何ですか(複数回答可)
・これまで十分手入れをしており、これ以上の手入れは必要ないから ・手入れが必要だと思っているが、お金がかかるので手入れできない ・手入れしても、育てた木がお金になるかどうか分からないから ・森林の場所や境界がよくわからないから ・森林に入るための道、林内の道がないから ・森林の手入れの方法やどこに頼めばよいかということが分からないから ・森林の手入れなど考えたこともなかった ・その他(
③森林の手入れに対して、条件が整えば国や県の補助金が出ることを知っていますか・知っている・知らない
。 知らてv. ② · 知らなv ·
④どういった問題が解決すれば、森林の手入れが進むと思いますか (複数回答可)
・補助金の活用による、森林所有者の負担軽減 ・きちんと育てた木が利用されることによる、森林所有者への利益の還元 ・森林の境界が、きちんと管理されるようになること ・森林に入るための道が整備されていること ・森林の手入れについて、気軽に相談できるところが整備されること ・その他(
【3】林業経営の現状などについてお伺いします
①所有する林地から収入を得たことがありますか
・ある・ない・わからない
「収入を得たことがある」方に伺います
①-1どういった内容による収入ですか(複数回答可)
・木材を売った・特用林産物(きのこ・山菜・花木等)を売った・土地を売った ・土地を鉄塔やアンテナなどに貸した・その他(
①-2収入を得たのはいつ頃ですか ・() 年前頃 ・わからない
①-3差し支えなければ、収入金額を教えてください ・() 円程度

「木材を売って収入を得た」方に伺います
①-4 どのような方法で売りましたか
・自分(または家族)が木を伐って、丸太を業者などに売った・業者に立木を売った ・森林組合に立木を売った ・その他()
①-4売った樹種は何ですか ・樹種() ・わからない
「収入を得たことがない」方に伺います
①-5収入を得たことがない理由は何だとお考えですか(複数回答可)
 ・収入を得ようと思っていないから ・森林の手入れはしているが、収入を得られるほど木が大きくなっていないから ・森林の手入れをしておらず、収入を得られるような木がないから ・森林の場所が良くないから(道から遠いなど) ・わからない ・その他()
②所有されている森林の手入れについて、具体的な目標がありますか
・ある・ない
「具体的な目標がある」方に伺います
②-1 どのような目標ですか (複数回答可)
 ・今の森林を手入れし、期間は長くかかるが太く大きな木を育てる ・今ある山の木を、売れる程度の大きさになるまでは育てて、売れるようになったら売る ・キノコや山菜などが取れるような山に育てる ・新緑や紅葉など、見た目にきれいな森林を育てる ・その他()
③今後、所有されている森林をどうしていきたいですか (複数回答可)
・きちんと手を入れて、豊かな森にしたい ・収益が出るなら手を入れたい ・少しお金はかけても人並みに維持したい ・手伝ってくれる人がいれば維持したい ・労力、お金等の負担がないなら、維持したい ・収入にならないから放っておきたい ・お金がかかるから放っておきたい ・土地も含めて買い手がいれば売ってしまいたい ・土地も含めてタダで良いから誰かに引き取ってほしい ・ 土 地 も 含 め て 必 要 な と こ ろ に 寄 付 し た い ・ そ の 他
④「豊かな森にしたい」「手を入れたい」「維持したい」と回答された方にお伺いします どのような森林にしていきたいですか(複数回答可)

・木材が利用できる森林 ・景観に配慮した森林 ・鳥獣にやさしい森林 ・水をはぐ

⑤お持ちの森林で動	を備したいお者	きえのところがあり)ますか		
-1 間伐	・ある ・費月	用負担がなければ、	ある・ない	`	
-2 作業道整備	・ある ・費月	用負担がなければ、	ある・ない	`	
-3 その他() ・ある	・費用負担がな	さければ、ある	る・ない
【4】森林組合の事	事業についてお	る伺いします			
①森林組合の事業	美についてご 存	すじですか			
・事業を利用した	こことがある	よく知っている	・ 広報誌で	知る程度・	わからない
②森林組合の事業	美、活動に期待	寺することはありる	ミすか(複数回	答可)	
森林について本森林・土地のデ補助金の内容系その他(売却、譲渡先 <i>の</i> 召介)紹介 ・森林経営	情について役立 宮の後継者育成) 先の開拓、紹		て欲しい
【5】地元産材の和	引用促進につい	いてお伺いします			
①邑南町が、邑南 ますが、 ご存じですか	海町産材の利用	月促進(住宅への利	刊用、製品開発	他)の事業を	≥実施してい
知っている・	・知らない				
②行政の行う地元	元産材の利用促	足進事業について			
		・地元でも事業を述 よくわからない	進めて欲しい	現状程度の)事業でよい
②-1「積極的に 伺いします	こ進めて欲しい	い」、「地元でも事業	美を進めて欲し	い」と回答さ	された方にお
具体的に取り約	且んで欲しい事	事業があれば、() 内にご記え	入下さい。	
(
)					
【6】森林の管理は	こ関してご意見	見があれば、下記に	に記入下さい		

用語の解説

林業に関して専門用語があるため、主だったものについて解説をしている。

用語	解説
皆伐	主伐の一種で、一定範囲の樹木を一時に全部又は大部分伐採すること
間伐	林分の混み具合に応じて、目的とする樹種の固体密度を調整する作業。一般に、除伐後、主伐までの間に育成目的に応じて間断的に行われる。間伐した材を製品に加工するなど利用する「利用間伐」と間伐した材を現地にそのまま放置する「切り捨て間伐」がある。間伐材の価格が安いため「切り捨て間伐」が多かったが、最近は「利用間伐」が推進されている。
主伐	利用期に達した樹木を伐採し収穫すること。間伐と異なり、 伐採後、次世代の樹木の育成を伴う。
除伐	育成の対象となる樹木の生育を妨げる他の樹木を刈り払う作業。一般に、下刈りを終了してから、植栽木の枝葉が茂り、 互いに接し合う状態になるまでの間に数回行われる。 苗木を植える。
植林 	
下刈り	植栽した苗木の生育を妨げる雑草や潅木を刈り払う作業。 一般に植栽後の数年間、毎年、春から夏の間に行われる。
長伐期施業	大径材生産を目的として、伐期を 70~80 年以上に設定する 施業 (短伐期施業は 40~50 年)。財貨の安定、労働力の軽減 が出来ることや、植生などの環境の保全に果たす役割が期待 されている。木材価格の低迷もあり、伐採期に達した木の伐 採を延期し、長伐期施業としている例もある。
複層林施業	人工造林により造成した森林において森林を構成する林木 を部分的に伐採し、人工造林により複数の樹冠層を有する森 林を造成する施業。長伐期施業と並行して行われることが多 い。(単層林施業:森林を構成する林木の全部を一度に伐採 し、人工造林により森林を造成する施業)
素材	用材(薪炭材、キノコ用原木は除く)に利用される主に丸太 をいう。
用材	原材料として使用される丸太をいう。用途として製材用(住宅用)、パルプチップ用、合板用、その他(枕木、電柱他)

国産材	国内で生産された素材をいう。主な樹種として、あかまつ・ くろまつ・すぎ・ひのき・もみ・つが・からまつ・えぞまつ・ とどまつ・なら・ぶながある。
外材	外国から輸入される素材(丸太) その他の半製品をいう。山地により南洋材(東南アジア)、米材(アメリカ合衆国、カナダ) 北洋材(ロシア) に大別される。
林業経営体	林地の所有、借入などにより森林施業を行う権限を有する、世帯、会社などのこと。「2005 年農林センサス」では、①保有山林面積が3ha以上で2005年を計画期間に含む森林施業計画を作成している、②保有山林面積が3ha以上で過去5年間に育林もしくは伐採を行っている、③委託を受けて造林・保育を行っている、④委託を受けて200㎡以上の素材生産を行っている——のいずれかに該当するものを林業経営体としている。
林業事業体	保有山林面積が10ha以上の世帯(林家)及び世帯以外の法人、法人以外の団体、その他グループ、国及び特殊法人(林家以外の林業事業体)をいう。国、特殊法人、都道府県、市町村も林業事業体といえる。なお、1990年世界農林業センサスでは林業事業体を次のように規定している。所有権または所有権以外の権限を有するものの集まりのうち農林水産大臣が定めるもの並びに国をいう。農林水産大臣が定めるものとは、非農家世帯、林家以外の林業事業体では、一筆10ha以上の山林を保有するものをいう。
林家	保有山林面積が10ha以上の世帯(法人、団体ではない) である林業事業体をいう。
高性能 林業機械	集材機、チェーンソー等の従来の林業機械と異なり、「2つ以上の仕事を一つの工程の中でできる機械」と位置づけられている。 主なものとしてスキッダ、フォワーダ、フェラーバンチャ、ハーベスタ、プロセッサ、タワーヤーダ、スイングヤーダ、その他(ハイブリット機械、フェラースキッダ、リモコン式刈払機、乗用式刈払機)がある。 近年、省力化、低コスト施業を進めるために導入が増えている。